

二〇一四年四月一九日(土)―五月一八日(日)

茅野市美術館

開館時間 11時～18時

(四月一九日は10時30分から開展式を開催し、終了後に開場)

休館日 毎週火曜日

(ただし火曜日が祝日の場合は、その直後の休みでない日)

観覧料 一般500円(300円) 高校生以下は無料

※()内は20名以上の団体料金。

※障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方と付添の方一名は無料。

主催 茅野市美術館、富永直樹展実行委員会

企画協力 長崎県美術館 協力 NPO法人サポートC 美遊com.

後援 長野県、長野県教育委員会、茅野市、茅野市教育委員会、岡谷市教育委員会、諏訪市教育委員会、下諏訪町教育委員会、富士見町教育委員会、原村教育委員会、諏訪教育会、信州美術会、諏訪美術会、茅野市美術協会、岡谷市美術会、諏訪市美術会、下諏訪美術会、富士見美術会、信濃毎日新聞社、長野日报社、信州・市民新聞グループ(7紙)、長野エフエム放送、エルシーブイ株式会社、月刊ぶらざ、JRR東日本長野支社、諏訪地方観光連盟、信州諏訪農業協同組合



《F子の首》一九三六年 長崎県美術館蔵

生誕一〇〇年記念

富永直樹展

もっとつながる。
もっとひろがる。

Chino City
Museum
of Art

富永直樹展

生誕一〇〇年記念

地域にゆかりの深い作家を紹介してきた茅野市美術館では、彫刻家・富永直樹(1913-2006)の生誕100年を記念した展覧会を開催します。

富永直樹は、1913年長崎県長崎市に生まれました。東京美術学校(現東京藝術大学美術学部)彫刻科在学中の1936年に《F子の首》によって文展(後の日展)に初入選して以来、日展を主な舞台に活躍した彫刻家です。1950年から3年連続での日展特選、1968年日展文部大臣賞、1972年日本芸術院賞など数々の賞を受賞します。その実績は、日本芸術院会員任命(1974年)、日展理事長就任(1979~1983年)、文化功労者顕彰(1984年)、文化勲章受章(1989年)などの経歴に見られるように広く認められています。1983年には茅野市・蓼科にアトリエを構え、以降は東京と蓼科を制作拠点としました。また、戦後のインダストリアルデザインの先駆けとして、《国産四号電話機》(1950年制式化)、《プラスチックラジオSS-55》(1952年、三洋電機)を手がけ、今日の産業デザインの基盤形成に大きく貢献しています。

本展では、作品を見て触れて感じて欲しいという作家の遺志を受け、一部ブロンズ作品に触れて頂ける展示を行ないます。この機会に、視覚だけではなく触覚を通して富永芸術の魅力をご堪能ください。

富永は「作家たる前に人間であれ」と語り創作活動を続けました。本展では、日展出品作を中心とした彫刻作品および関連資料、総数約70点により、その歩みを見つめます。



《国産四号電話機》1950年制式化 個人蔵



《殊勲者》1950年 長崎県美術館蔵



《対話》1970年 長崎県美術館蔵



《大将の椅子》1984年 長崎県美術館蔵



《僕らの遊び場》1993年 茅野市美術館蔵



《森の守護神》2005年 長崎県美術館蔵

「生誕100年記念 富永直樹展」関連イベント

美術を語る「富永直樹」

ゲスト：野中明(長崎県美術館学芸員)

4月19日(土) 13:30- 茅野市美術館

参加費：無料(要展覧会チケット)

きてみて! 親子ギャラリーツアー

ガイド：茅野市美術館サポーター、学芸員

4月27日(日) 11:00- 茅野市美術館

参加費：無料(対象は小中学生とその保護者。保護者の方は1名無料。会場入口に5分前に集合)

ガイドと一緒に話しながら、作品を鑑賞します。

きてみて! ギャラリーツアー

ガイド：茅野市美術館サポーター、学芸員

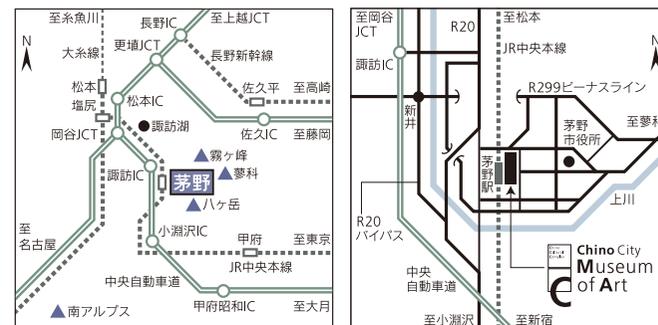
5月6日(火・休) 14:00- 茅野市美術館

参加費：無料(要展覧会チケット)

学芸員によるギャラリートーク

5月10日(土) 11:00-、5月18日(日) 14:00- 茅野市美術館

参加費：無料(要展覧会チケット)



■ JR中央本線・茅野駅下車、東口直結 ■ 中央自動車道・諏訪ICより車で約12分

茅野市美術館 〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号 茅野市民館内
Tel.0266-82-8222 <http://www.chinoshiminkan.jp>